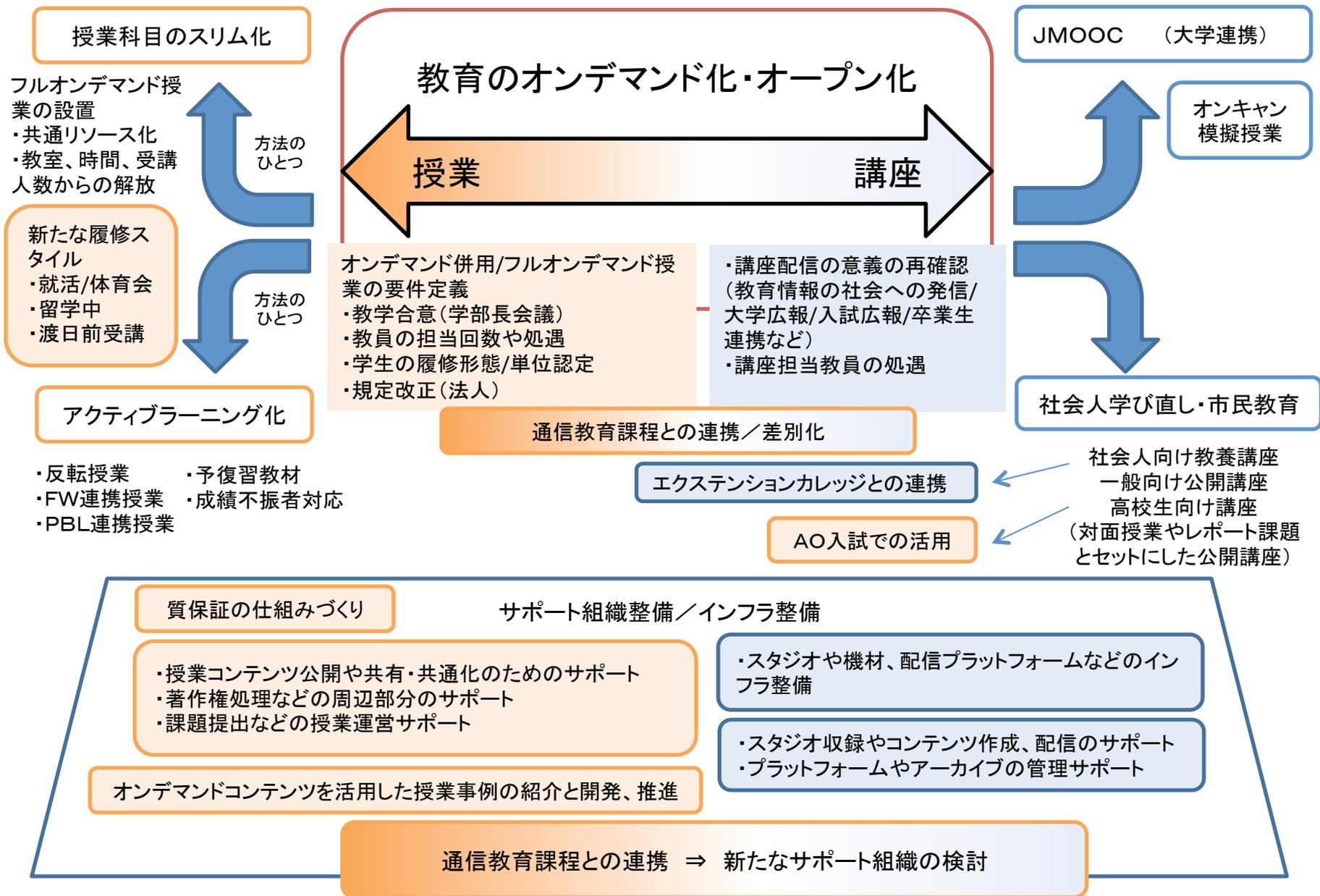


大学における オンライン授業活用 の可能性

JMOOC 2016年度定時総会

法政大学総長 田中優子

教育のオンデマンド化・オープン化をキーとした各作業部会との連携(イメージ図)



法政大学の授業オンライン化への進捗

- 2013年度:JMBOC設立
- 2014年度:法政大学 加盟決定
- 2014年度:「教育のオンデマンド化・オープン化」検討プロジェクトを設置
- 2015年度:JMBOCの正会員となり発信実施。オープンキャンパス模擬授業も開始。
- 2016年度:HOSEI 2030 アクションプラン作業部会「大規模授業のオンライン化システムの構築」発足。

法政大学のJMBOOC参加

- 2014年4月より、JMBOOC協賛会員
- 2015年度に、JMBOOCの正会員となる
- 2016年1月「江戸文化入門」配信
(助成金あり)→教育情報の社会への発信

JMOOCのプラットフォーム

- gacco (運営: NTTドコモ社とドコモgacco社) → 受講者数が多かった
- OpenLearning, Japan (運営: ネットラーニング社)
- OUI MOOC (運営: 放送大学)
- Fisdom (運営: 富士通社)

講座の構成

講座 1回10分程度とし、段階的に4週にわたって公開した。具体的には

- Week1 (2016年1月19日～1月26日)
- Week2 (2016年1月26日～2月02日)
- Week3 (2016年2月02日～2月09日)
- Week4 (2016年2月09日～2月23日)

の期間に6授業ずつ公開を行った(合計24授業)。

受講者数

Week1 (4,847人)

Week2 (5,403人)

Week3 (5,568人)

Week4 (5,679人)

低成長時代

江戸文化入門

を生き抜くために



トークスクリプト原稿の作成

第1週の1「16-19世紀の世界」

この講座は「江戸文化入門」です。副題は「低成長時代を生き抜くために」としました。

江戸時代がどういう時代か、きっと皆さんは学校の教科書で学んでいらしたでしょう。皆さんのイメージの中の江戸時代と、「低成長時代」という言葉は、あまり食い違いがないはずです。

その第一の理由は、

→このような原稿を24回分執筆。約7万字

画像の選択

- データ化された画像、または画像をデータ化して選び、パワーポイントにしておく。228図におよんだ。
- トークスクリプトのどの位置に入れるかを、原稿中に指示する。
 - 講義しながら、画像がふさわしいタイミングで現れるようにする。
- 画像は左に寄せておく→右側に講師の姿が入る。
- 画像は文字画像、動画も可能。
- 著作権処理を職員に託した。

制作プロセス

- 撮影 gacco提携の専用スタジオにて撮影を行った(連続2日間)。
- プロモーションビデオ(120秒程度)と全講座の収録を行った。
- 課題:レポート式または選択式の課題を課すことができるが、今回は選択式を採用した。
- ディスカッションボード(掲示板)を使用した。対応にはTAを配置した。

ディスカッションボード(掲示板)

gaccoは受講者同士および大学側とのコミュニケーションツールとしてオフィシャルにディスカッションボード(掲示板)を提供している。

→講座に関する質問、要望、意見などが寄せられる。質問にはTAが対応。受講者同士のやりとりで解決するケースが多くみられた。

→一部の参加者による強い意見も飛び交ったりした時もあったが、平穏な運営になるように受講者同士で諫めるような場面もあった。



開講前スケジュール

- 講座内容の検討→シラバス作成(6月)
- JMOCへ開講申請(8月)→申請許可
- プラットフォーム運営会社と連携しての講座作成:トークスクリプト作成、コースカード作成、プロモーションビデオ作成、撮影(9月)、動画チェック、TAへの依頼、**図版リストを作って著作物の使用許可処理**、字幕作成
- 課題の作成、答案の作成
- 動画完成→開講へ

図版リスト(部分)

58		タイトル		
59		タイトル		
60		記載あり	『百人女部品定』に見える繰くり/西川祐徳(1723年)	田中優子
61		記載あり	『談論当世島金花襷』/歌川国貞	静嘉堂文庫蔵
62		記載あり	『談論当世島吊り舟』/歌川国貞(1845~46年)	静嘉堂文庫蔵
63		記載あり	『風俗四季歌仙・水無月』/鈴木春信(1768年頃)	慶應大学図書館蔵
64		文字資料		
65		文字資料		
66		記載あり	『東西南北の美人・深川』(1776年)	東京国立博物館
67		記載あり	インド古塗り更紗 白地草花文様更紗	徳川家/徳川美術館蔵
68		記載あり	インド古塗り更紗切襦・杜若	文化学園服飾博物館蔵
69		記載あり	鍋島更紗	佐賀県立博物館
70		記載あり	『誠忠義士肖像・中村勘助正伝』	山口県立萩美術館・浦上記念館蔵
71		記載あり	流水杜若模様振袖	女子美大美術館
72		記載あり	緋輪子地山桜に寛貴流水縫紋	文化学園服飾博物館蔵
73		記載あり	白輪子地御簾に草花蝶模様縫落紋小袖	文化学園服飾博物館蔵
74		記載あり	吉原細見模様小袖	女子美大美術館
75		記載あり	吉原細見模様小袖	女子美大美術館
76		タイトル		
77		記載あり	中国景德鎮から学んだ伊万里	九州陶磁文化館
78		記載あり	司馬温光文八角皿 マイセン、伊万里柿右衛門	アムステルダム国立博物館/出光美術館
79		記載あり	司馬温光文壺	国立マイセン磁器美術館
80		記載あり	色絵花鳥文六角共蓋壺 マイセン、伊万里	出光美術館
81		記載あり	V.O.Cマーク入り草花文鉢	ライデン国立民族博物館
82		記載あり	鍋島 染付駕文三足付皿	佐賀県立九州陶磁文化館
83		記載あり	『談論当世島金花襷』/歌川国貞	静嘉堂文庫蔵
84		文字資料		
85		文字資料		
86		タイトル		
87		記載あり	喜多川歌麿「名所櫻掛け八景・梅が香」	東京国立博物館
88		記載あり	藍色ちろり、切り藍色船形鉢	サントリー美術館
89		記載あり	切り三ツ組杯・蓋台 黄緑織文徳利	サントリー美術館
90		記載あり	森島中良『紅毛雑話』	国立国会図書館
91	第2選	記載あり	『松梅竹取談』/山東京伝	国立国会図書館
92		記載あり	『栄増眼鏡徳』/恋川行町	国立国会図書館
93		記載あり	『栄増眼鏡徳』/恋川行町	国立国会図書館
94		記載あり	『福徳寿五色眼鏡』/桜川慈悉成	国立国会図書館
95		記載あり	『福徳寿五色眼鏡』/桜川慈悉成	国立国会図書館
96		タイトル		
97		記載あり	ふすべ革たばこ入れと鐘魁の筒	百楽庵コレクション
98		記載あり	鐘魁に合わせた奥の前金具	百楽庵コレクション
99		記載あり	孟母断機の唐木綿たばこ入れ	百楽庵コレクション
100		記載あり	断機する母の前金具と孟子の楨付け	百楽庵コレクション
101		記載あり	興福寺古瓦隈付け付きの金唐革たばこ入れ	百楽庵コレクション
102		記載あり	ふぐの前金具(冬)・梅とかれいの裏金具(春)	百楽庵コレクション
103		記載あり	オランダ織木綿のたばこ入れ・竹形の筒・虎の前金具	百楽庵コレクション
104		タイトル		
105		文字資料		
106		記載あり	駿河版刷活字(1607年)	凸版印刷株式会社蔵
107		記載あり	家康・伏見版木活字『貞観政要』	凸版印刷株式会社蔵
108		記載あり	きりしたん版金属活字本『ばうちずもの扱けやう』	天理大学図書館蔵
109		文字資料		
110		記載あり	『唐詩選』絵本	田中優子
111		記載あり	『唐詩選』絵本	田中優子
112		記載あり	『無益委記』/恋川寺町	
113		記載なし	清水の舞台から飛び降りる美人(繪暦1765年)	
114		記載あり	逢油町・鶴屋喜右衛門	
115		記載あり	『今様見立土農工商』上野広小路・魚屋栄吉	大田記念美術館
116		記載なし	北斎『画本東都遊』鳥居耕書堂	たばこ店の博物館
117		記載あり	二代歌川国貞画『三人吉三郎初賀』初編上下	鈴木重三コレクション
118		記載あり	貸本屋 『西時交加』/北尾重政	田中優子
119		文字資料		
120		タイトル		
121		記載あり	『一掃百態・寺子屋』/渡辺華山(1818年)	愛知・田原町蔵
122		記載あり	『文字ばんだいの宝』に見える手習所/一寸子花里(1844~47年)	くもん子供研究所蔵
123		記載あり	銀形裏面「山東京伝」	加賀洗染亭
124		記載あり	広重『寺子屋遊び』	くもん子供研究所蔵

開講中スケジュール

開講(1月)

掲示板(ディスカッションボード)の確認

→必要であれば、掲示板の問い合わせ内容に対して回答やアドバイスを行う

→閉講(3月)

講座作成にあたっての課題：著作権処理

- 公開する資料、図版、ロゴ等は、著作権処理を完了したうえで、インターネット上に掲載をする必要があるが、出版物に掲載する場合と金額や手続方法が異なり、書籍出版時に使用した図版も再度手続きを行う必要があった。
- 使用許可の期間が設定されているため、講座映像は、開講期間内のみしか公開できなかった。
- 魅力的な講座作りにあたっては、図版を多く使用したい一方、「期間」「費用」の制約が発生する。
- 受講者の理解を深めるために、多くの図版がスムーズに使用できるような仕組み作りや、各著作権者のJMOCへの認知と理解および関連法の整備が進むことを望みたい。

そのほかの オンライン授業活用

オープンキャンパス

2015年度配信模擬授業

- 法学部 浜村 彰(知って得するパート・アルバイトの法律知識)
- キャリアデザイン学部 梅崎 修(21世紀のキャリアデザイン - 工業化から脱工業化へ -)
- 国際文化学部 前川 裕(比較文化とは何か? - 日本文学の英訳を巡って -)
- 経済学部 松波淳也(環境問題に挑戦する経済学 - ひとつの経済学入門 -)
- 人間環境学部 金藤正直(地域活性化のためのビジネスモデルを考えてみよう)
- 法学部 下斗米伸夫(冷戦とは何だったか)
- 経営学部 奥西好夫(10年後の人事制度)
- 社会学部 金原瑞人(異文化との衝突がもたらすもの - 幕末から明治初期にかけての日本語の表記)

オープンキャンパス模擬授業の配信

- 2015年度オープンキャンパスで実施した模擬授業の動画を入学センターHPで配信した。
- 2016年度も引き続き、入学センターに制作、公開を依頼している。
- 将来的には、双方向対応の仕組み（ディスカッションボードやアンケートをとる仕組み）なども検討していきたい。
- →LINEの使用も検討中

法政大学通信教育部

- 1947年、大学通信教育課程として日本で最初に開設された歴史と伝統ある通信教育部。
- 法学部、文学部、経済学部の授業が開講されている。
- メディアスクーリング（e-learning）とスクーリングの組み合わせを実施。

→学部授業との連携を検討



授業支援システム

- すべての授業で使用可能
- デジタル化した教材をアップロードしておけば、学生がダウンロードできる。紙媒体で数百枚の印刷は不要となった。
- 画像ファイルもアップロードでき、分割・圧縮すれば大きなサイズのものもアップロード可能。

テレビ局の番組との連携(社会学部)

- NHKの水俣関連アーカイブを、履修者がパスワードを使って閲覧し、議論の準備をする。
- 講義では議論

→オンラインの活用は、講義の場での画像使用を意味するのではなく、予習(議論、プレゼンテーションの準備)、復習(レポート執筆)に使うことで、講義をアクティブラーニング化することが目的。

教育のオンデマンド化・オープン化をキーとした各作業部会との連携(イメージ図)

